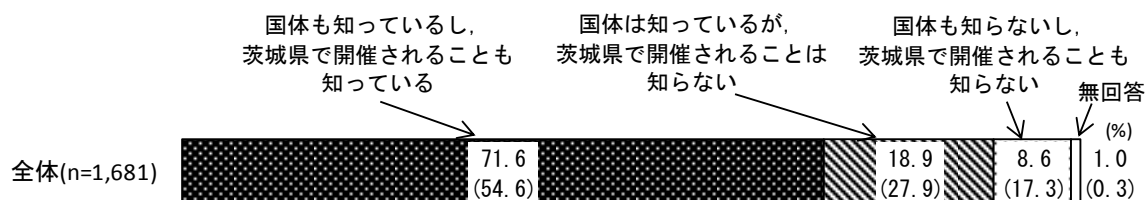


Ⅲ 第74回国民体育大会及び第19回全国障害者スポーツ大会

1. 「国民体育大会」が茨城県で開催されることの認知状況

－「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」が7割超－

問8 あなたは、国内最大のスポーツの祭典である「第74回国民体育大会（以下、「国体」といいます）」が、来年（2019年）に茨城県で開催されることを知っていますか。
（○は1つだけ）



※()内の数値は、平成29年の調査結果（個別面接聴取法で実施）

「国民体育大会」が茨城県で開催されることの認知状況としては、「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」（71.6%）が7割を超えている。一方、「国体は知っているが、茨城県で開催されることは知らない」（18.9%）は約2割となっている。

－「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」が17ポイント増加－

前回調査（昨年）と比べると、「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」が17ポイント増加している。一方、「国体は知っているが、茨城県で開催されることは知らない」は9ポイント減少している。

－県北で「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」が8割台半ば－

地域別でみると、「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」は、県北（84.8%）で8割台半ばと最も高く、次いで、県央（82.4%）で8割を超えて高くなっている。

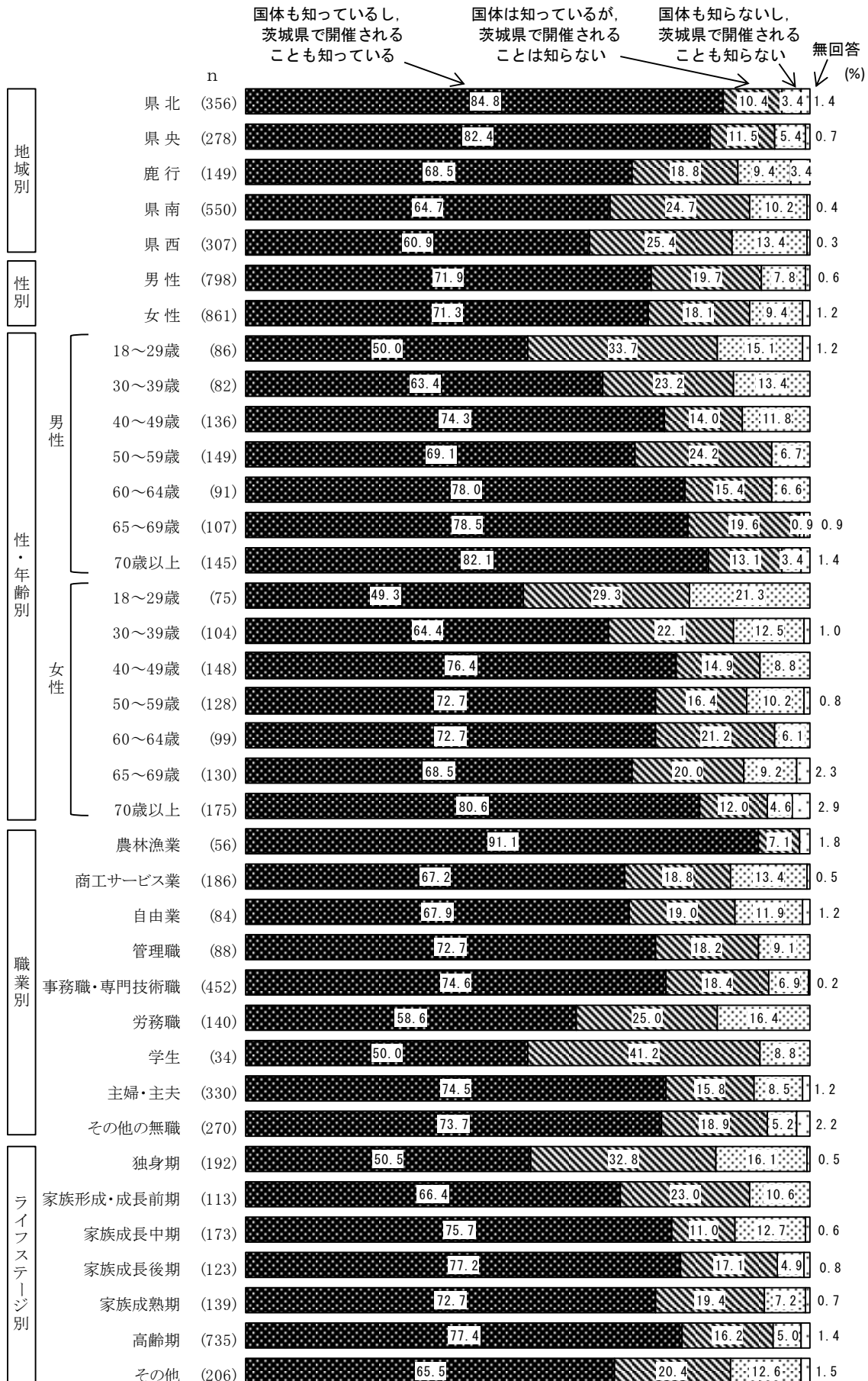
－男女の70歳以上で「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」が8割台前半－

性・年齢別でみると、「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」は、70歳以上の男性（82.1%）と女性（80.6%）で8割台前半と高くなっている。

－農林漁業で「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」が9割超－

職業別でみると、「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」は、農林漁業（91.1%）で9割を超えて最も高くなっている。

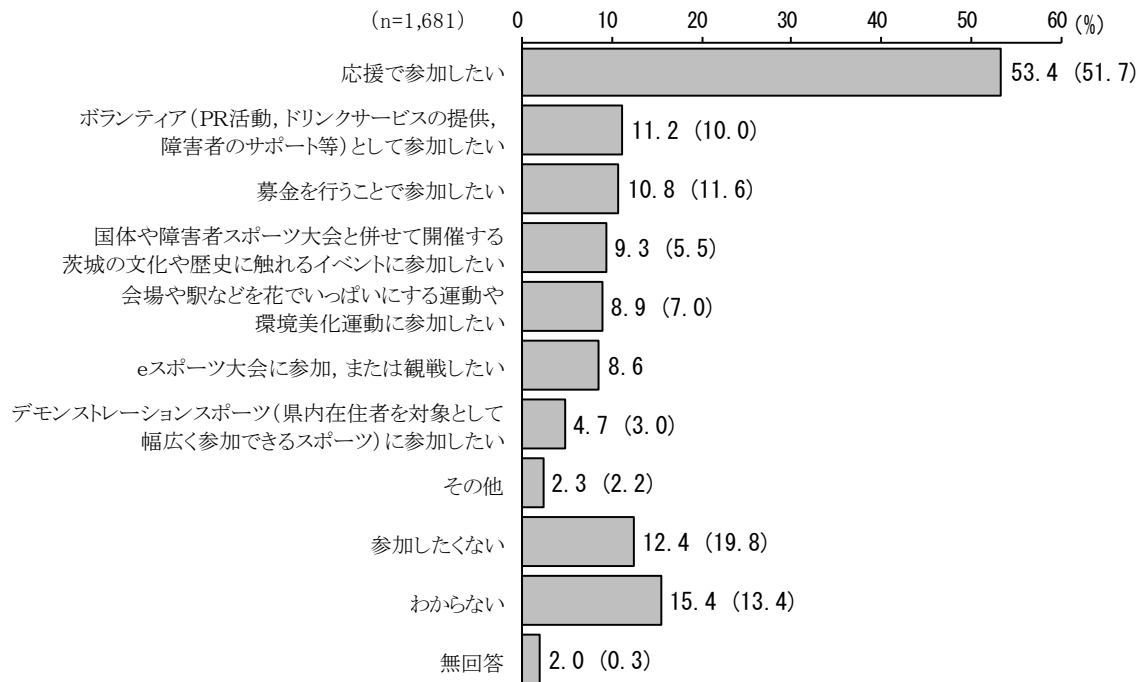
図Ⅲ 8-1 「国民体育大会」が茨城県で開催されることの認知状況
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別)



2. 国体や全国障害者スポーツ大会で参加したい項目

－「応援で参加したい」が5割台半ば－

問9 来年（2019年）に、茨城県で、第19回全国障害者スポーツ大会（以下「障害者スポーツ大会」といいます）も開催されます。ここからは、「国体」と「障害者スポーツ大会」の両方の大会についてお聞きします。あなた自身が「国体」や「障害者スポーツ大会」に参加する場合、どの項目で参加したいと思われますか。（〇はいくつでも）



※()内の数値は、平成29年の調査結果（個別面接聴取法で実施）

国体や全国障害者スポーツ大会で参加したい項目としては、「応援で参加したい」（53.4%）が5割台半ばと最も高く、次いで、「ボランティア（PR活動、ドリンクサービスの提供、障害者のサポート等）として参加したい」（11.2%）と「募金を行うことで参加したい」（10.8%）が1割台で続いている。一方、「参加したくない」（12.4%）も1割を超えている。

－「参加したくない」が約7ポイント減少－

前回調査（昨年）と比べると、「参加したくない」が約7ポイント減少している。

－県北、鹿行で「応援で参加したい」が約6割－

地域別でみると、「応援で参加したい」は、県北（60.7%）、鹿行（57.0%）で約6割と高くなっている。

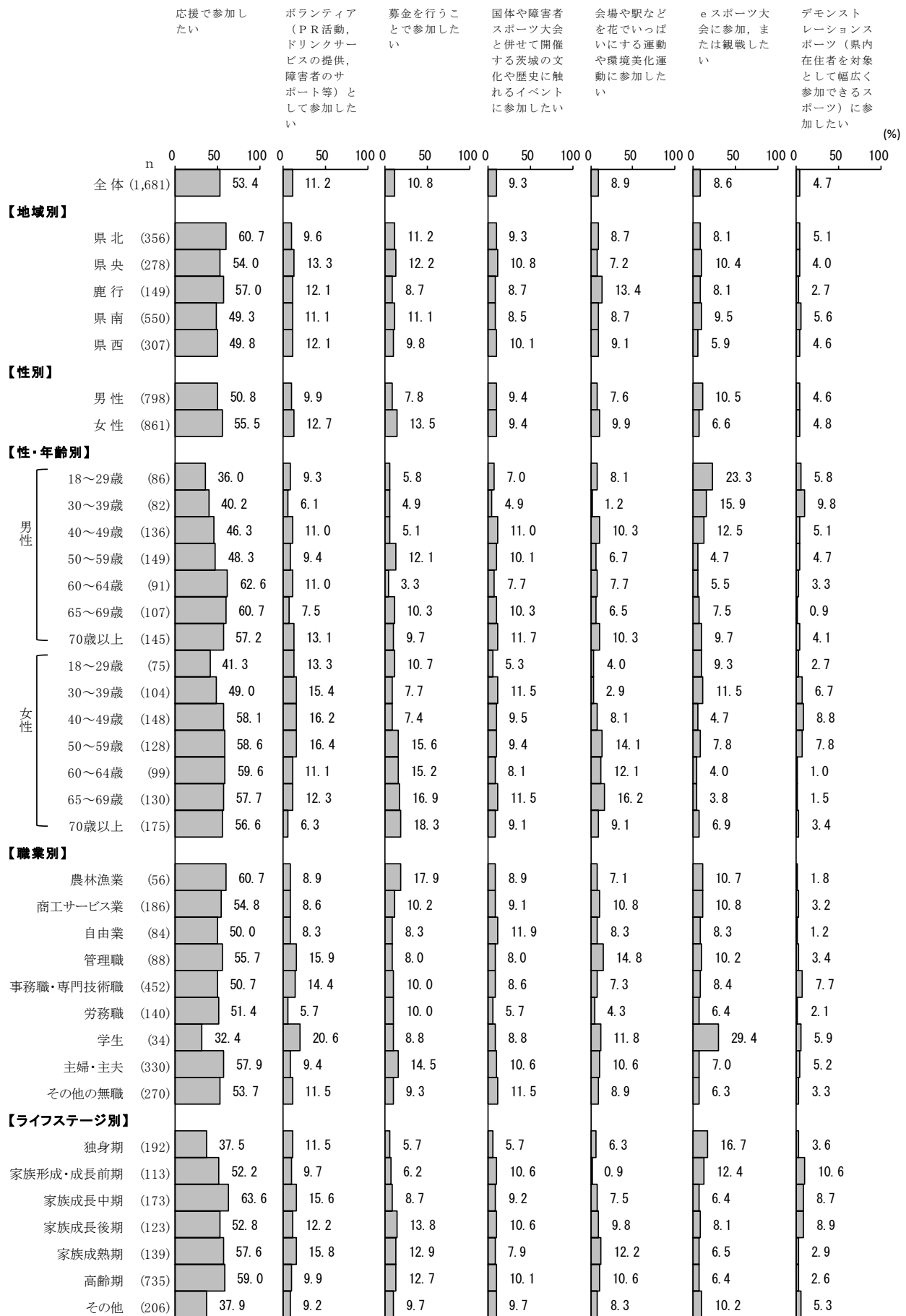
－男性の60～64歳、65～69歳で「応援で参加したい」が6割台前半－

性・年齢別でみると、「応援で参加したい」は、男性の60～64歳（62.6%）、65～69歳（60.7%）で6割台前半と高くなっている。

－学生で「eスポーツ大会に参加, または観戦したい」が約3割－

職業別でみると、「eスポーツ大会に参加, または観戦したい」は、学生（29.4%）で約3割と最も高くなっている。

図Ⅲ 9-1 国体や全国障害者スポーツ大会で参加したい項目
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別—上位7項目)



表Ⅲ 9-1 国体や全国障害者スポーツ大会で参加したい項目
(前回調査との比較-上位5項目)

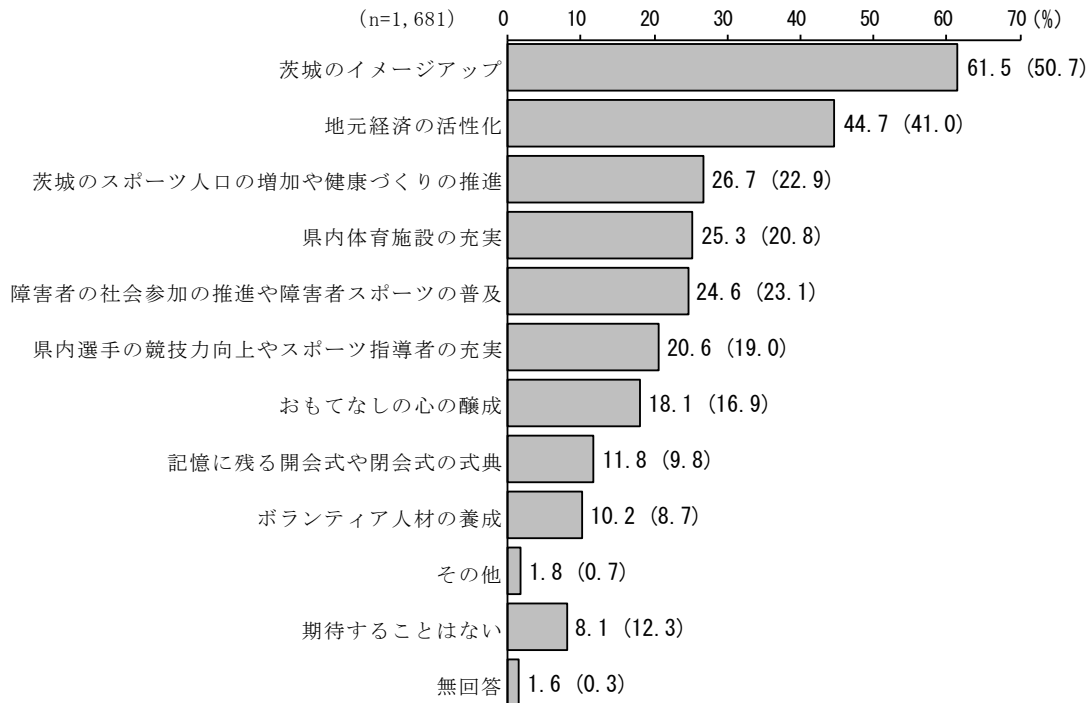
(単位：%)

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (H30) n=1,681	応援で参加したい 53.4	ボランティア (PR活動, ドリンクサービスの提供, 障害者のサポート等) として参加したい 11.2	募金を行うことで参加したい 10.8	国体や障害者スポーツ大会と併せて開催する茨城の文化や歴史に触れるイベントに参加したい 9.3	会場や駅などを花でいっぱいにする運動や環境美化運動に参加したい 8.9
前回調査 (H29) n=1,072	応援で参加したい 51.7	募金を行うことで参加したい 11.6	ボランティア (PR活動, ドリンクサービスの提供, 障害者のサポート等) として参加したい 10.0	会場や駅などを花でいっぱいにする運動や環境美化運動に参加したい 7.0	国体や障害者スポーツ大会と併せて開催する茨城の文化や歴史に触れるイベントに参加したい 5.5

3. 国体や全国障害者スポーツ大会の開催により期待すること

－「茨城のイメージアップ」が6割超－

問10 「国体」や「障害者スポーツ大会」を開催することで、あなたが期待することは何ですか。（〇はいくつでも）



※()内の数値は、平成29年の調査結果（個別面接聴取法で実施）

国体や全国障害者スポーツ大会の開催により期待することとしては、「茨城のイメージアップ」（61.5%）が6割を超えて最も高く、次いで、「地元経済の活性化」（44.7%）が4割台半ば、「茨城のスポーツ人口の増加や健康づくりの推進」（26.7%）と「県内体育施設の充実」（25.3%）、「障害者の社会参加の推進や障害者スポーツの普及」（24.6%）が2割台半ばで続いている。

－「茨城のイメージアップ」が約11ポイント増加－

前回調査（昨年）と比べると、「茨城のイメージアップ」が約11ポイント増加している。

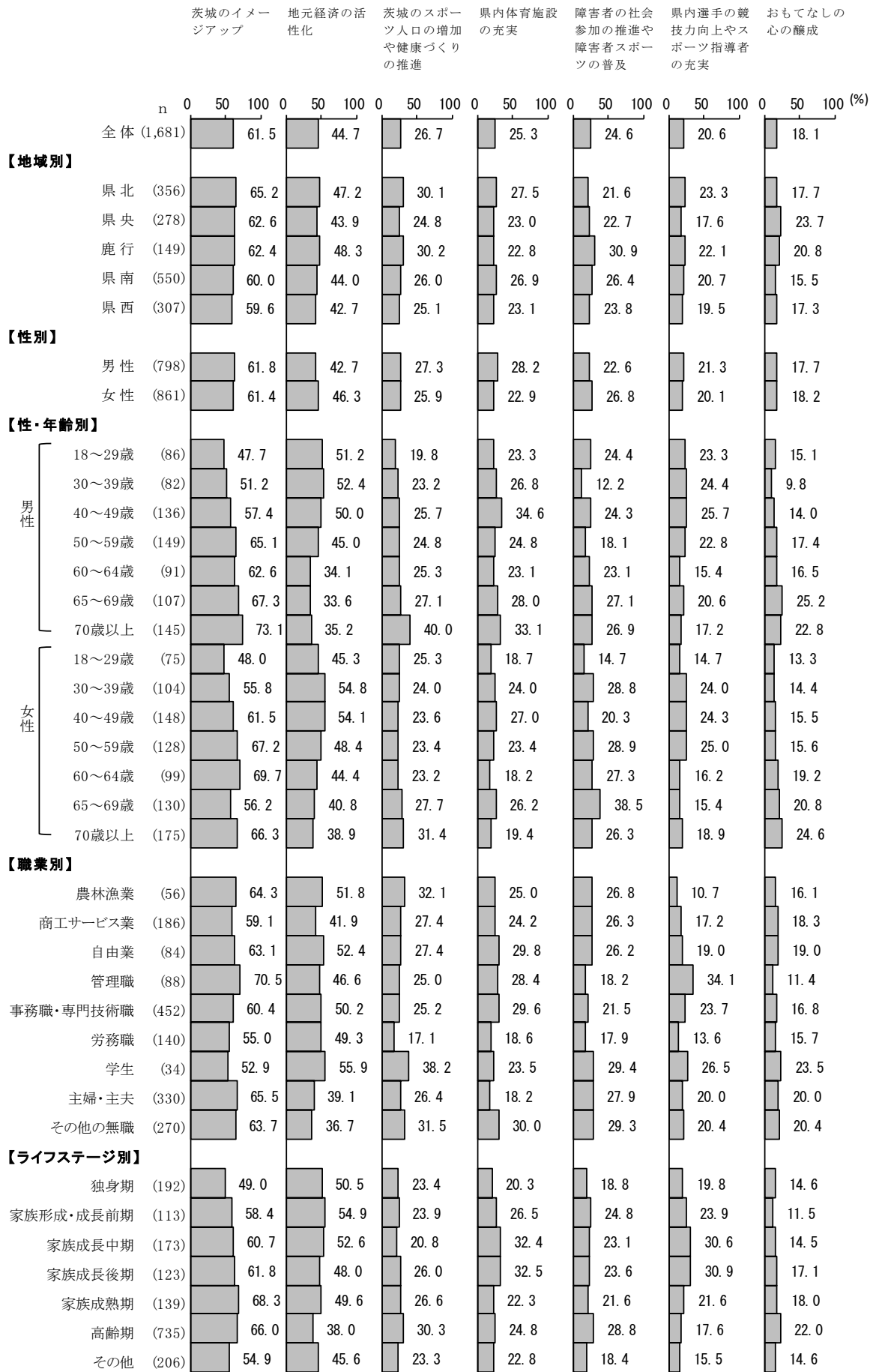
－男性の70歳以上で「茨城のイメージアップ」が7割台半ば－

性・年齢別でみると、「茨城のイメージアップ」は、男性の70歳以上（73.1%）で7割台半ばと最も高くなっている。

－女性の30代、40代で「地元経済の活性化」が5割台半ば－

性・年齢別でみると、「地元経済の活性化」は、女性の30代（54.8%）、40代（54.1%）で5割台半ばと高く、次いで、男性の18～29歳（51.2%）、30代（52.4%）、40代（50.0%）が5割台前半で続いている。

図Ⅲ 10-1 国体や全国障害者スポーツ大会の開催により期待すること
(地域別、性別、性・年齢別、職業別、ライフステージ別—上位7項目)



表Ⅲ 10-1 国体や全国障害者スポーツ大会の開催により期待すること
(前回調査との比較-上位5項目)

(単位：%)

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (H30) n=1,681	茨城のイメージアップ 61.5	地元経済の活性化 44.7	茨城のスポーツ人口の増加や健康づくりの推進 26.7	県内体育施設の充実 25.3	障害者の社会参加の推進や障害者スポーツの普及 24.6
前回調査 (H29) n=1,072	茨城のイメージアップ 50.7	地元経済の活性化 41.0	障害者の社会参加の推進や障害者スポーツの普及 23.1	茨城のスポーツ人口の増加や健康づくりの推進 22.9	県内体育施設の充実 20.8